

# 小学校第2学年 道徳科 学習構想案 (例)

日時 令和 年〇月〇日 (〇) 第〇校時

場所 2年〇組教室

指導者 〇〇 〇〇

## 1 学習構想

主題名	学校のたからもの (内容項目 C(14)よりよい学校生活, 集団生活の充実)	
ねらいと教材	(1)ねらい 主人公の心の変容について考える活動を通して、学校の宝物に込められた人々の思いに気付き、愛校心を抱きながら、学校の宝物を大切にしようという道徳的心情を育てる。 (2)教材名 きゅうけい先生 出典:「くまものところ 小学校1・2年 (熊本県教育委員会)」	
評価の視点	評価の視点 1	評価の視点 2
	主人公の心の変容について、多面的・多角的に考えている。	学校の宝物について振り返り、これからの学校生活について考えている。
目指す児童の姿		
学校の宝物に込められた思いに気付き、愛校心を抱きながら、楽しい学校生活を過ごしていこうとする児童		
主題に迫る学習課題 (本時)	本主題で働かせる見方・考え方	
学校の宝物について考えよう	学校の宝物について多面的・多角的に考え、自分との関わりで考えながら、自己の生き方についての考えを深めていくこと。	
内容項目相互の関連的・発展的な指導、各教科等や体験活動等との関連的指導		
<b>道徳科</b>		
<b>特別活動 (学級活動)</b> <b>「係を決めよう」</b> ○ クラスのために自分の役割を果たそうとする意識を高める。 <b>「本の借り方・返し方」</b> ○ 本に対する興味を持ち、図書館を正しく使おうとする態度を養う。 <b>「学習発表会に向けて」</b> ○ 友達と協力し、学習発表会を成功させようとする意識を高める。 <b>「大きくなるわたし」</b> ○ 自分の体を大切にしようとする意識を高める。 <b>「給食ありがとう」</b> ○ 給食についての知識を深め、感謝して食べようとする意識を高める。 <b>「ぼく・わたしのたん生」</b> ○ 家族への感謝とこれからの自分の成長について考える。	<b>「三くみ 大すき」</b> 出典:「新しいどうとく2 (東京書籍)」 C(14)よりよい学校生活, 集団生活の充実 主題名 わたしたちのクラスのために	<b>生活科</b> <b>「楽しいこと いっぱい」</b> ○ 進級を喜び、新たな抱負を話し合ったり、1年生に喜んでもらえることを考えたりする。  <b>「これまでのわたし これからのわたし」</b> ○ 自分自身の成長を振り返り、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持つとともに、これからの成長への願いをもって意欲的に生活することができるようにする。
	<b>「きゅうけい先生」(本時)</b> C(14)よりよい学校生活, 集団生活の充実 主題名 学校のたからもの 主人公の心の変容について考える活動を通して、学校の宝物に込められた人々の思いに気づき、愛校心を抱きながら、学校の宝物を大切にしようという道徳的心情を育てる。	
	<b>「じぶんが しんごうきに」</b> 出典:「新しいどうとく2 (東京書籍)」 B(7)感謝 主題名 「ありがとう」の気持ちを	

## 2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所（ねらいや指導内容についての教師の捉え方）																																			
<p>本主題は、第1学年及び第2学年の内容項目 C(14)「先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすること」を基にしたものである。</p> <p>学校は、子供にとってみれば、教師、友達、先輩、後輩、との出会いの場であり、人間形成の場である。そのような場で生活している一人一人が、学校に親しみを感じ、学校に誇りを持つことから、愛校心は育っていくと考えられる。</p> <p>この時期の児童にとって、教師から受ける影響は大きい。また、生活科での地域の人々との触れ合いを通して、学校の良さや特徴を知ること多い。</p> <p>それまで、漠然としていた学校に対する考え方が、教師や地域の人々の考えに触れることによって深まり、学校に対する誇りにつながる。</p>																																			
本主題における系統																																			
<p><b>小学校第1学年及び第2学年 内容項目 C(14)（よりよい学校生活、集団生活の充実）</b></p> <p>先生を敬愛し、学校に人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすること。</p>	<p><b>小学校第3学年及び第4学年 内容項目 C(14)（よりよい学校生活、集団生活の充実）</b></p> <p>先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。</p>	<p><b>小学校第5学年及び第6学年 内容項目 C(14)（よりよい学校生活、集団生活の充実）</b></p> <p>先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して、集団生活の充実に努めること。</p>																																	
児童の実態（児童の学習状況や実態と教師の願い）																																			
<p>本学級の児童数（ 人）</p> <p>■主題に関する意識の状況</p> <p>(1)〇〇小学校の好きなのところはどんなところですか。</p> <p>(2)〇〇小学校のじまんできるところはありますか。</p>																																			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #f8d7da; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>項目のみ記載しています。</b></p> </div>																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">調査内容</th> <th style="width: 10%;">すき</th> <th style="width: 10%;">まあまあすき</th> <th style="width: 10%;">ふつう</th> <th style="width: 10%;">あまりすきではない</th> <th style="width: 10%;">きらい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道徳は好きですか？</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自分の考えを書くことは好きですか？</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自分の考えを発表することは好きですか？</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>みんなで話し合いをすることは好きですか？</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						調査内容	すき	まあまあすき	ふつう	あまりすきではない	きらい	道徳は好きですか？						自分の考えを書くことは好きですか？						自分の考えを発表することは好きですか？						みんなで話し合いをすることは好きですか？					
調査内容	すき	まあまあすき	ふつう	あまりすきではない	きらい																														
道徳は好きですか？																																			
自分の考えを書くことは好きですか？																																			
自分の考えを発表することは好きですか？																																			
みんなで話し合いをすることは好きですか？																																			
<p>■考察</p> <p>(内容項目に関する実態調査)</p> <p>(道徳科の学習に関する意識の状況)</p>																																			
教材の価値（使用する教材の特質や具体的な活用方法）																																			
<p>教材「きょうけい先生」は、犬童球溪の人吉高等女学校教諭時代の教え子の手記をもとに構成されたものである。主人公は、校歌の歌詞の意味が難しいために覚えられず、校歌を歌うときなどは、小さい声で歌っていた。ある日、地域のおばあさんから、学校の校歌の作者が犬童球溪であることを知らされ、おばあさんが犬童球溪の教え子であることを知りびっくりする。さらに、おばあさんの話を通して、教師としての犬童球溪の魅力やその作品のすばらしさに触れる。そして、犬童球溪が作った校歌が学校の宝物であると思い直し、一生懸命に歌詞を覚えて大きな声で歌おうと心に決める。</p> <p>本教材を通して、児童は犬童球溪の教師としての思いやりの深さや、音楽家としての偉業を感じ取ることができる。また主人公の心の変容を多角的・多面的に考えることで、学校に対しての誇りを持つことが、学校生活を楽しくすることにつながる。</p>																																			

### 3 指導に当たっての留意点

#### 【導入・終末の工夫】(学習過程の工夫)

- 犬童球溪の写真を見せ、人吉市出身の音楽家であることを知らせる。犬童球溪が作詞作曲した「旅愁」や「故郷の廃家」を視聴させる。
- 事前に、保護者や祖父母、学校の職員や上級生などから、学校のすばらしいところや自慢できるところを聞き取らせておく。
- 授業の導入場面では、「学校の宝物」に対するアンケート調査結果を提示することで、児童が本時の主題に関わる問題意識を持てるようにしたい。その上で教材に出会わせていきたい。
- 登場人物の思いを即興的に演じることで、自分事して捉え、道徳的価値への理解を深めるようにする。
- おばあさんの話を聞く前と、聞いた後の主人公の校歌に対する気持ちの変容を捉えさせることで、主人公が歌う校歌を通して、学校の校歌に誇りを持ち始めたことに気付かせる。
- 展開後段場面では、事前のアンケートを活用し、学校のすばらしいところや学校の宝物について、多面的・多角的に考え、話し合わせる。その際、理由も言えるように指導する。
- 授業の終末場面では、卒業生のビデオメッセージを提示する。卒業生の母校に対する思いや「学校の宝物」への思いや願いを知らせ、児童の学校への愛着を明確なものにしていく。これからの学校生活を、楽しく有意義なものにしていくために、十分な時間を確保し、自分たちが見つけた学校の宝物について話し合わせ、意識させたい。

#### 4 本時の学習

(1) ねらい 主人公の心の変容について考える活動を通して、学校の宝物に込められた人々の思いに気づき、愛校心を抱きながら、学校の宝物を大切にしようという道徳的心情を育てる。

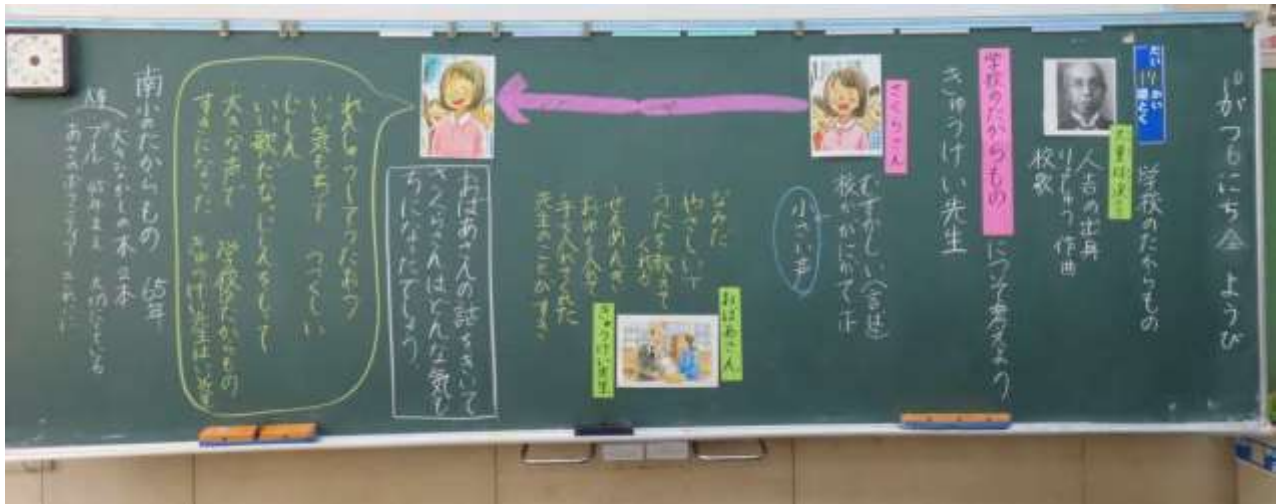
(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p><b>1 犬童球溪谷について知る。</b> ◇「旅愁」を作曲した音楽家だったんだ。 ◇人吉市の出身だったなんて初めて知ったよ。</p> <p><b>2 本時の学習課題を知る。</b> ① 教材「きゅうけい先生」の概要を把握する。</p>	<p>○人物の写真を見せ、音楽学校の教師で、たくさんの校歌を作詞作曲されていることや「故郷の廃家」を作詞した有名な音楽家ということを紹介す。</p> <p>○話の概要を紹介し、学校の宝物についての価値の方向付けを行う。</p> <p>○事前に行ったアンケート結果を知らせ、学校の宝物に対するいろいろな考えを児童に提示する。同時に、宝物に対する関心を高める。</p> <p>○登場人物の関係性をペープサートを使って紹介し、教材文の内容を理解できるようにする。</p>
展開	30分	<p><b>【めあて】 学校のたからものについて考えよう。</b></p> <p><b>2 教材を読み、道徳的価値について考える。</b> ①校歌に対するさくらの気持ちを考える。 ◇歌詞が難しい。 ◇あまり歌いたくない。</p> <p>②犬童球溪谷に対するおばあさんの気持ちを考える。 ◇心が優しく、思いやりのある先生。 ◇先生が大好きで感謝している。</p> <p>③おばあさんの話を聞いた後のさくらの気持ちの変容について考える。</p>	<p>○DVDを視聴させ、挿絵等を掲示する。</p> <p>○さくらの校歌に対する苦手意識に共感できるように、自我関与させる。</p> <p>○おばあさんの気持ちを想像させるために、本文中のおばあさんの言葉を教師が気持ちを込めて朗読する。</p> <p>○女学生の頃のおばあさんの役と球溪先生役で役割演技をさせる。洗面器のお湯に手を付ける場面で、おばあさんの喜びを表現させ、球溪先生の優しさや思いやりを児童が感じ取れるようにする。</p> <p>○おばあさんの話を聞く前後で、さくらの校歌に対する気持ちが変わっていることを押さえ、なぜ変わっていったかをワークシートに書き、話し合わせる。</p> <p>○おばあさんの話を聞く前後で、さくらの表情を挿絵を使って比較し、気持ちの変化をとらえやすくする。</p> <p>○学校のすばらしいところや学校の宝物について、多面的・多角的に考え、話し合わせる。その際、理由も言えるように指導する。(個に応じた支援)</p>
		<p><b>【中心発問】</b> おばあさんの話を聞いて、さくらはどんな気持ちになったでしょう。</p> <p>◇人として教師として思いやりのある犬童球溪先生が作った校歌なら、自慢だな。 ◇素敵な話を聞いて、球溪先生のことを好きになったな。だから先生が作った校歌なら一生懸命に歌いたいな。</p> <p>④学校の素晴らしい所やたからものについて話し合う。 ◇みんなが勉強してきた校舎 ◇運動場のくすのきはおじいちゃんのところからあるよ。</p>	
終末	10分	<p><b>3 自分自身を振り返る。</b> ①卒業生によるビデオレターまたは GT の話を聞き、卒業生 (GT) の思いや学校の宝物について知る。 ◇校歌を大切にしてきたんだな。 ◇歴史があるくすのきは、ずっと子供たちを見守ってきたんだな。</p> <p>②学習シートにふり返りを書く。 ◇学校がもっと好きになったよ。 ◇学校の宝物を大切にしていきたいな。 ◇これからも楽しく学校生活を過ごしていきたいね。</p>	<p>○ビデオレターを見せ、話に出てきた学校の宝物の静止画を画面上に残しておく。</p> <p>○学校の宝物に込められた思いや歴史を強調しながら板書し、児童の心に留まるようにする。</p> <p>○「今まで、今日学んだこと、これから」の3つの視点から選んで、ふり返りを書くようにする。</p>

【評価の視点1】主人公の気持ちの変容の理由や学校の宝物について、多面的・多角的に考えている。(方法:発言・ワークシート)

【評価の視点2】学校の宝物に対する、これまでの自分自身の言動をふり返り、これからの学校生活について考えている。(方法:発言・ワークシート)

【板書計画】



【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等

本時終末の振り返りの場面【電子黒板】

- DVDで視聴させる。
- アンケートの提示
- ビデオ

学校内にある学校の宝物や素晴らしいところを想起できるように、写真等をスライドで提示する。



【体育館】



【校歌】



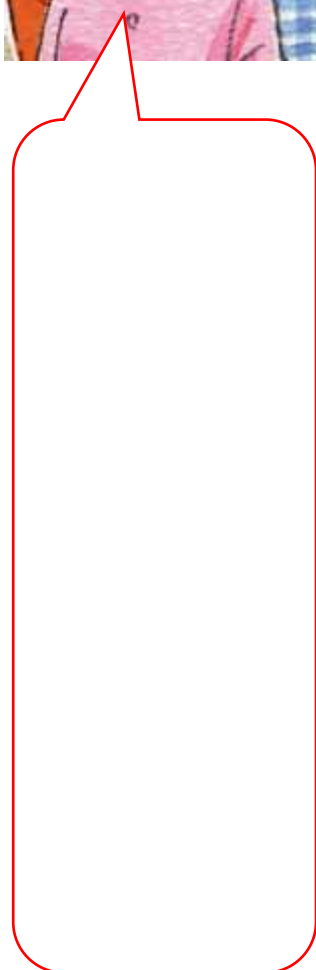
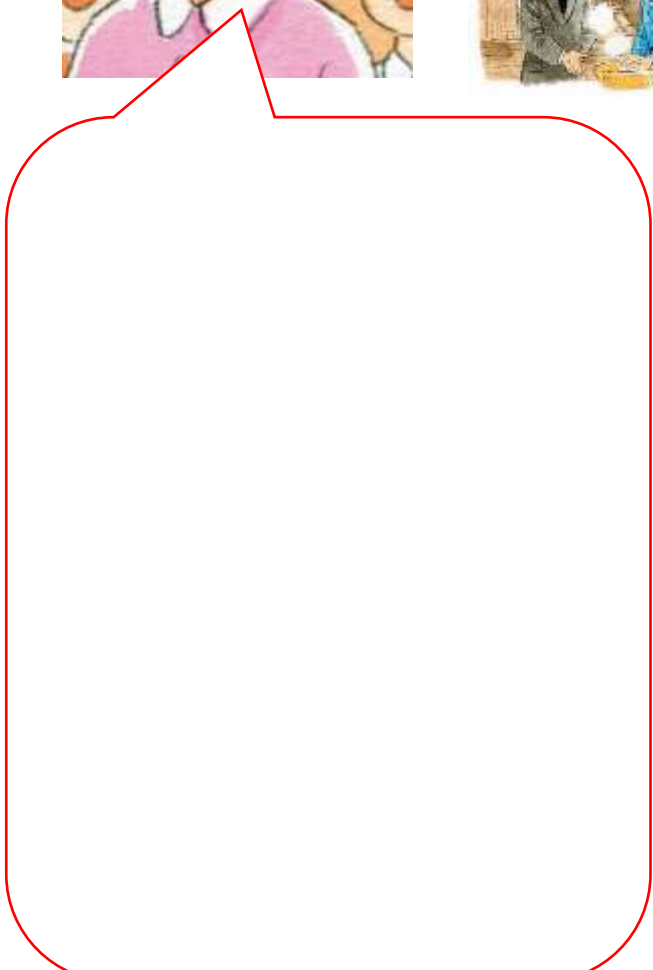
【中庭の藤棚】

学校のたからもの

二年)

きゆうけい先生

★さくらさんの気持ちを考えよう。



★学習をふり返って①今までどうだったか ②今日学んだこと ③これからどうしたいか

